

IFSと製造業



#MomentofService

私たちと他社との違い



“何が IFS の成功を可能にしたのか、なぜお客様は競合他社ではなく IFS を選んだのか、という質問をよくいただきます。私の答えは2つです。第一に、私たちは、お客様に価値と成功を提供することに関して揺るぎない信念を持っており、私たちのビジネスのあらゆるところにそれを反映していることです。マーケティングから営業のチーム、製品のデリバリーチーム、カスタマーサポートチームに至るまで、私たちはすべての活動の中心にお客様を置き、目に見える形で示しています。第二に、研究開発部門や製品戦略においても、顧客中心主義が浸透していることです。私たちは、IFS Cloud を、導入を容易にし、イノベーションを利用可能にし、企業の成長に必要な業種固有の機能を提供するために開発しています。このような私たちの「旅」には、お客様にも参画していただいております。これが私たちと他社との違いです。

このブローチャーでは、IFS の会社概要と、業界のアナリストが繰り返しこの分野のリーダーに当社を認定する理由について説明しています。

本書の内容にご興味を持っていただければ幸いです。そして、将来、皆様と実際にお会いできる機会が来ることを心待ちにしております。

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'D. Rouse'.

IFS
最高経営責任者
ダレン・ルース

IFS

会社概要

IFS は、エンタープライズ・クラウド・ソフトウェアのプロバイダーとして、「ものづくり」、「サプライチェーン」、「設備の維持管理」、「サービス中心のビジネス」を支援するためのソリューションを開発し、世界各地の企業に提供しています。IFS の業界固有の要件に対応した製品は、1つのプラットフォーム上で、本質的に単一のデータモデルに結び付けられており、組み込み型のデジタルイノベーションを使用しています。これにより、お客様は、顧客にとって本当に重要なとき、すなわち「サービスの瞬間」に最善を尽くすことができます。IFS の従業員と広がり続けるエコシステムを通して提供される業界の専門知識と、すべての段階で価値を提供するというコミットメントによって、IFS は業界のリーダーとして認められ、最も推奨されるサプライヤーとなりました。4,500人の従業員で構成される当社のチームは、「アジリティ」、「信頼性」、「コラボレーション」という企業理念を日々実践しながら、1万社を超えるお客様を支援しています。



+4,500
従業員数



50+
拠点所在国数



+10,000
顧客数



\$9億8400万
2021年度売上高



3x
収益成長率
業界の平均成長率比



+105%
クラウドによる収益
2020年度比

3
信頼性



1
アジリティ

2
コラボレーション





IFSのパートナーエコシステム

私たちは世界有数の企業と提携することで、お客様により多くの選択肢を提供し、新しいテクノロジーを利用できるよう支援しています。IFSのパートナーネットワークには、オーソライズド、シルバー、ゴールド、プラチナ、プラチナエリート各レベルの認定を受けた、ローカルおよびグローバルなパートナーが多数参加しています。これらのパートナーは、より優れたソリューションを構築できるよう支援してくれます。また、導入およびコンサルティング・サービスを補完したり、承認されたテクノロジーとソフトウェアを統合したりすることもできます。

このパートナーエコシステムにより、お客様は、協業先、専門的なスキル、およびIFSのソフトウェアを補完するテクノロジーを自由に選択することができます。また、より広範な地域でIFSのサポートを受けることができますので、今日のグローバルビジネスを促進することができます。

私たちは、専門家として認められることの重要性を認識しています。お客様やパートナーの皆様が知識を高め、その専門性を証明するために、「IFSアカデミー」プログラムを用意しています。IFSアカデミーでは、パートナーの皆様がカスタマイズされたトレーニングコースと試験を受けることにより、コンサルタントや組織を公式に認定する機会を提供しています。これは、すべてのお客様が、いかなるIFSパートナーと協業しようとも、同等に高品質のサービスを確実に受けられるようにするためのものでもあります。

企業の社会的責任



IFSは1983年の設立以来、持続可能性をその企業理念の中心に据えてきました。そして、持続可能性の動きにおいて、私たちの産業が果たすべき重要な役割を認識しています。

テクノロジーには、「環境、社会、ガバナンス(ESG)」の課題に取り組むソリューションを構築することで、より良い変化を実現できる可能性があります。私たちのアプローチは3つの柱から成り立っています。それは、私たち自身の事業において持続可能な活動を行うことです。お客様が持続可能性を実現するためのサポートを提供し、業界全体の持続可能性を向上させるためにテクノロジーに影響を与えます。IFSは国連グローバル・コンパクトに賛同し、国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)」の重点分野に注力しています。私たちは、2025年までのカーボンニュートラル実現を含む意欲的な目標を設定し、継続的に取り組んでいます。

私たちは、自社の持続可能性目標を達成するだけでなく、製品を通じてお客様がよりエネルギー効率を高めることをサポートしています。IFS Cloudは、コンピューティングに比べて52~79%、従来のデータセンターに導入されているストレージに比べて71~79%程度エネルギー効率が高いことが試算されています。新しいIFS Cloud Sustainability Hubアプリは、業界のベストプラクティスと一般的な持続可能性基準を満たす特定のテンプレートを提供します。また、2021年に、当社のお客様の組織や個人の持続可能性に対する取り組みを表彰する「IFS Change for Good」賞を創設しました。

さらに、IFSは教育プログラムを通じて、2021年を通して世界各国の学生を支援し続けました。この活動の趣旨は、学生や若者がテクノロジーに興味を持ち、新しいスキルを学び、IT分野で働くことがどういうものかを理解できるように支援することで、STEM科目(科学・技術・工学・数学)への関心を高めることにあります。私たちは、学生、特に女子学生のハイテク業界でキャリアを積む意欲を向上させるために、スリランカの15大学を含む世界各国の一流大学と協力し、奨学金やIT機器ならびにインターンシップやメンターシップを提供しています。また、IFSは、独立慈善団体であるIFS Foundationとも提携しています。この団体は、2021年、スリランカのWelusumanapuraにおいて、SDGsの目標「3:健康と福祉」、「6:清潔な水と衛生」、「8:働きがいと経済成長」を支援するいくつかのプロジェクトを実施しました。





業界のアナリストから リーダーとして認めら れています

私たちは、自らを最高だと言うことと、業界の専門家から最高だと言われることはまったく別であると考えています。長年にわたり、世界で最も著名な調査会社やアドバイザー会社のアナリストが、当社のソリューションポートフォリオにおける製品およびサービスのリーダーシップを評価してきたことを誇りに思います。

IFS は、ガートナー・マジック・クアドラントのフィールドサービス管理 (FSM) ソフトウェア部門¹において6年連続でリーダーに選ばれ、2021年クリティカル・ケイパビリティ・レポートのFSM分野²の「複雑なサービスおよびサポートのユースケース」部門で1位に選出されました。また、高名な調査会社である IDC は、2022年 MarketScape グローバルベンダー評価レポートの製造業向けサービスライフサイクル管理プラットフォーム部門³において、IFS をリーダーに選出しました。IDC はまた、2021年 MarketScape の SaaS およびクラウド対応製造業向け設備資産管理 (EAM) アプリケーション部門⁴において、IFS をリーダーとして評価しました。さらに IFS は、2022年第一四半期に FSM の Constellation ShortList™⁵、2022年第一四半期にクラウド型 ERP の Constellation ShortList⁶ にそれぞれ選出されました。Forrester は、2021年 Forrester Wave™ エンタープライズ・サービス管理 (Enterprise Service Management :ESM) レポート⁷において、IFS をリーダーに選定しました。

このように、IFS の認知度は、世界のアナリストの中で上昇し続けています。これは、IFS が優れたソリューションを開発するための先導者として顧客重視の戦略を実行していることのみならず、最も重視されるべき顧客が IFS と協業し、テクノロジーを利用してビジネスを推進している点が高く評価されていることを表しています。

¹ Gartner, Magic Quadrant for Field Service Management, Jim Robinson, Naved Rashid, 31 August 2021

² Gartner, Critical Capabilities for Field Service Management, Jim Robinson, Naved Rashid, 1 November 2021

³ IDC, IDC MarketScape: Worldwide Manufacturing Services Life-Cycle Management Platforms 2022 Vendor Assessment*, By: Aly Pinder, February 2022, IDC # US46742721

⁴ Constellation ShortList, Ray Wang, Q1 2022

⁵ Constellation ShortList, Ray Wang, Q1 2022

⁶ Forrester, The Forrester Wave™: Enterprise Service Management, Q4 2021, Charles Betz, Will McKeon-White, December 6, 2021

IDC MarketScape は、特定市場における ICT サプライヤーの競争力の適応度を把握できるベンダー分析モデルです。調査方法として、定量的および定性的な評価基準に基づいた厳密な採点手法を用いています。調査結果は当該市場における各ベンダーの位置付けを示す、1つのグラフィックスによって図示されます。IDC MarketScape は、ICT ベンダーの製品とサービス、ケイパビリティ (製品/サービス提供能力)、戦略、さらには現在および将来の市場における成功要因を比較可能とした明確なフレームワークを提供します。IT バイヤーはこのフレームワークを利用することによって、ICT ベンダーの強みと弱みを包括的に把握することができます。



お客様のパートナーとして

先進的なエンタープライズ・ソフトウェアを開発するには、コードだけでは不十分です。各業種のビジネスや業務に加えて、それらの共通の障壁や変化を促進する要因を理解することが重要です。私たちのソフトウェアを日々使用してビジネスを改善し、市場で成功しているお客様ほど、それらをよく知っている人はいません。したがって、IFS では、ビジネス・アドバイザー・セミナーや意思決定のグループにおいて、お客様に対して多くのヒアリングを行っています。お客様と定期的に意見を交換するアドバイザー・カウンシルが非常に重要です。これらは世界中のユーザーグループによって補完され、お客様は IFS 製品をより良く活用するために必要なことを話し合い、当社に提言しています。

また、半年ごとに「パイオニアプログラム」を実施しています。このプログラムでは、選ばれたお客様と、製品の設計および開発担当者との間で情報交換を行い、リリース前にお客様からのフィードバックを収集します。

しかし、お客様と IFS との関係は、製品開発のみに留まりません。私たちは、契約のあらゆる段階で価値を創出しています。IFS Select™および IFS Success™のサービスを通じて、お客様は先進的な成果管理によるメリットを享受できます。これは、IFS ソリューションに関する深い専門知識と、期待されるビジネス目標に関する深い理解を組み合わせたものです。その一環である IFS Value Assurance™ (IFS ビジネスバリュー保証) により、お客様は構造化された予測可能な方法でビジネス価値を実現できます。これは、複数年の契約期間内に、お客様のソリューションが意図されたビジネス・パフォーマンスを提供し、お客様の戦略目標に合致できるようにするものです。

製品の導入が完了すると、IFS Lifecycle Experience のフレームワークにより、調査と定義から構築と使用までを通して、変更をサポートします。これらの反復型のアプローチを通じて、お客様が当社のソリューションをご利用いただくあらゆる段階で、現実世界のビジネス価値を最大化できるよう支援します。

IFS Support ポータルは、製品サポートと深い製品知識を提供するために、お客様とのひとつのシームレスなパイプを確立します。IFS Support は、IFS 製品に関連する問題について、機能面および技術面で熟練した支援を提供します。

貴社にとっての サービスの瞬間とは

すべての良いビジネスは、何か違うことをしようという意図から始まります。それは、新たな発明の場合もあれば、生産プロセスの改善かもしれません。

しかし、すべての素晴らしいビジネスとは、顧客のために何か素晴らしいことをしたいという意図から始まるものです。

これは、微妙なニュアンスの違いではありますが、生じる影響は大きなものです。

ビジネスの成功に必要なことは数多くありますが・・・
重要なのは **サービスの瞬間** です。

適切な資材を調達し、最適な生産プロセスを導入し、受注から納品までを迅速に行う仕組みを構築し、顧客と真摯に向き合う。この過程で生じるあらゆる意思決定や血と汗と涙の結晶は、ここぞと言うときに顧客によってその真価が明らかになります。これが、「サービスの瞬間」です。

それは、すべてがひとつに集結する**瞬間**です。

それは、注ぎ込んだ努力が報われる**瞬間**です。

それは、顧客の前でビジネスの勝敗が決定づけられる**瞬間**です。

貴社にとっての「サービスの瞬間」は、
どのような瞬間でしょうか？

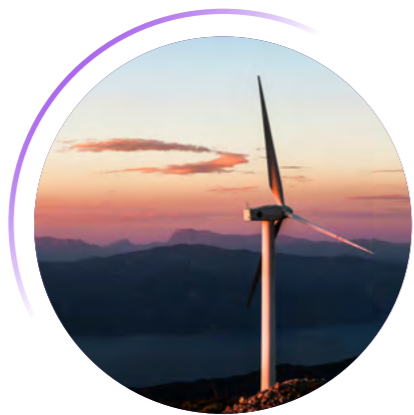
業種のニーズに特化したソリューション

私たちのビジネスは、数十年前に、お客様の敷地内にテントを設営し、ソリューション開発にあたることから始まりました。私たちはこのユニークな経験から、業種ごとのビジネスプロセス、システム、課題を真に理解することによってもたらされる価値を学びました。

今日、このように業種とお客様に焦点を当て、業界固有の課題に取り組み、革新的で洞察力に富んだソリューションを提供することで、お客様のビジネス目標の達成を支援します。



航空宇宙 & 防衛



エネルギー
公益 & 資源



建設 & エンジニアリング



製造



サービス産業

真に価値のある「サービスの瞬間」を実現するために

いかなる業種でも、サービスを提供する瞬間が重要であることは明白です。IFS Cloud は、サプライチェーンや生産からアフターセールスやサポートに至るまでのビジネスの根幹となる活動を、顧客を満足させる「サービスの瞬間」というより大きなものに結び付けます。

IFS Cloud は、企業のエコシステムの重要な部分として開発されており、業種固有の要件に焦点を当てた機能と柔軟性によって、迅速に価値を実現します。詳細なプロセスの改善を検討している場合でも、高度な戦略的意思決定のサポートを必要としている場合でも、IFS のプラットフォームは、お客様がシステムを稼働させ、すぐにビジネスニーズに対応できるように設計されています。

IFS Cloud には、業界に特化したアクセラレータが備わり、より効率的な導入を支援します。また、ロビー、レポート、ダッシュボードを使用して、情報を視覚化し、意思決定をサポートします。また、モジュールベースの機能により、ニーズやビジネスモデルの変化に応じて IFS ソリューションを拡張し、強化することができます。

IFS が現代の複雑な製造業のビジネスに最適な エンタープライズ・ソフトウェア・ベンダーで ある理由

エンタープライズ・リソース・プランニング (ERP) ソフトウェアが MRP (資材所要量計画) の世界から登場した当時、主に反復的な大量生産に重点が置かれていました。つまり、今日の多くの ERP 製品が、単純なプロセスの大量生産環境で最高のパフォーマンスを発揮していることは、驚くことではありません。しかし、これらの製品を検討すると、現代的な SaaS (Software-as-a-Service) プラットフォームであれ、1970 年代にまでさかのぼる従来のエンタープライズ・スイートであれ、おそらく次のような懸念を感じることでしょう。

- 機能が限られているため、受注設計生産、プログラムベースの生産あるいはプロジェクト (案件) 型生産などの高度な生産方式に対して、現在または将来の要件を満たせない可能性がある
- 現在のニーズを満たすために広範なカスタマイズが必要になる。また、ニーズの変化に合わせてシステムを統合するために、多くの作業が必要になる場合がある。
- アフターサービス契約管理や設備資産管理 (EAM) さらに保守業務などを支援するための重要な機能との緊密な統合が欠如している
- 実際には、多くのサードパーティー製ソリューションで構成されており、それぞれに独自のライセンス契約が必要になると共に、異なるアップグレード・サイクルに対応しなければならない場合がある。
- ベンダーが自社独自のテクノロジーにユーザーを囲い込むのに役立つツールにすぎないように思える

競合他社が繰返生産向けソリューションを原点としているのに対し、IFS はミッション・クリティカルな資産集約型産業やプロジェクト単位で事業を行う業種向けのソリューションの開発からスタートしました。これらの業種には、原子力発電、産業用設備のメンテナンス、航空宇宙防衛産業、造船業などがあります。そのため、IFS のソリューションは、当初から、反復的なトランザクションのみならず、製品や設備の構造、プロジェクトの構成要素、設備資産のライフサイクルの管理を中心に構築されました。大手の競合ソリューション・プロバイダーは、繰返し製造する見込生産の機能を追求してきました。対して IFS では、これらの機能開発に留まらず、複雑で規制の厳しい環境にも対応できる機能性でも大きな存在感を示しました。

したがって、IFS が繰返生産の管理を容易にする一方で、IFS のお客様は、受注設計生産、バッチプロセス、個別受注生産、見込生産、受注生産など、複数の生産方式を組み合わせて運営する傾向にあります。IFS のソフトウェアは、これらの異なるビジネスモデルを 1 つのアプリケーションで連携させるのに役立ちます。さらに、ますます多くのメーカーが、収益と利益を拡大するためにサービスの提供に依存する傾向にあります。IFS では、これらのサービスから利益を上げるためのソリューションを提供しています。

複雑なビジネスを運営することは、多くの場合、その範囲は複数の国々におよび、リスクを伴うことがあります。IFS は、グローバルな資産ポートフォリオ管理やサプライチェーン管理など、組織全体のリスクを特定して軽減するのに役立つソフトウェアを提供します。

IFS の製造業への アプローチ

オープンで容易

IFS ソリューションには、業界のベスト・プラクティスとビジネス・プロセスが採用されており、そのまま導入することも、お客様の厳しいニーズに合わせて構成することもできます。これらのプロセスは、製品全体を通して組み込まれており、最も要求の厳しい業界のニーズを満たす特定の機能によって強化されています。重要な製造業向けの機能 (在庫および非在庫の品質管理、需要主導型 MRP、保守管理など) は、標準で組み込まれたコンポーネントとして提供されます。これは、初期費用のみならず、10 年以上使用する場合のコンサルティングやシステム統合にかかるコストを削減できることとなります。

IFS のソフトウェアを使用して貴社のバリュー・チェーン全体を支援している場合でも、サードパーティーのテクノロジーと連携したり、データを共有する必要が生じることがあります。IFS のソリューションは、IoT、サードパーティーのデータサービス、および優れたアプリケーションからのデータにアクセスできる、使いやすいアプリケーション・プログラム・インターフェイス (API) を中心に構築されています。

他社のアプリケーションのユーザーを締め出したリ、IFS のソリューションのデータにアクセスしたことでペナルティを科したり、不要なものを購入することを強制したりすることはありません。IFS の目標は、たとえば SCADA といったシステムから適切なイベントを取得して IFS のソフトウェアに容易に転送できるようにし、そのデータに関するビジネス・バリューを構築できるようにすることです。私たちは、製造業のお客様が自社のソフトウェアの購入方法や運用方法 (オンプレミスかクラウドか) を選択できるようにしています。また、IFS ソリューションを使用すると、頻繁にクエリを実行するデータベースの一部またはデータベース全体を、ディスクベースではなくインメモリで実行できます。しかし、この方法でソリューション全体を実行するように強制することはありません。

将来に備えた

IFS は、人工知能 (AI) ソリューションをいち早く市場に投入した企業です。初期の製品はスケジュールの最適化や顧客エンゲージメントといったビジネスの一部にしか対応していませんでしたが、現在、IFS は、生産、プロジェクト管理、およびサービス管理のソリューションといった製品ポートフォリオ全体に適用するというビジョンを掲げています。この新たなアプローチによって、お客様は、IoT や拡張現実 (AR)/ 複合現実 (MR)、人工知能 (AI)、機械学習 (ML) といった実現可能なテクノロジーを、実用的かつ焦点を絞ったかたちで統合できるようになり、業務全体の最適化や自動化、予測や相互作用の向上を実現できるようになります。

最適なベンダー

製造業は、IFS のソフトウェアを、要求の厳しいグローバル環境で実証された広範な ERP ソリューションとして導入することも、あるいは最高水準の設備資産管理 (EAM)、フィールドサービス管理やメンテナンス・リペア・オーバーホール (MRO) のソリューションとして利用することもできます。



すぐに使えるソリューション



IFS フィールドサービス管理クラウド

IFS サービスマネジメントは、サービス業務の計画、追跡管理、最適化を可能にする強力なソリューションです。

複雑な設備資産管理、スケジュールの最適化、モビリティなどの主要なサービス管理機能と、サプライチェーン管理 (SCM)、人材管理、グローバル会計管理などのエンタープライズ規模の ERP 機能を組み合わせることにより、単一のプラットフォーム内で収益性の高いサービス中心のビジネスモデルを実現し、収益を最大化します。



IFS ERP クラウド

IFS ERP(エンタープライズ・リソース・プランニング)は、変化の速いデジタル化されたサービス主導型の世界で競争優位に立つための支援を提供します。

会計管理、人材管理、顧客関係管理 (CRM)、サプライチェーン管理 (SCM) など、業界最高レベルの機能を備えた個別の要件を満たすソリューションを提供します。組立生産、プロセス生産、ハイブリッド生産、および複雑なプロジェクト管理とサービス管理のための強力な機能を幅広い業界に向けて提供します。



IFS 設備資産管理(EAM)クラウド

IFS 設備資産管理 (EAM) は、資産のライフサイクルを通じた管理に必要な機能を提供し、資産および資産情報の管理コストを削減します。

また、信頼性重視保全、予防保全、要員管理、プロジェクト管理、設備総合効率 (OEE)、ならびにモビリティを実現する強力なツールを提供します。保守在庫、文書管理および契約管理、エンジニアリング、財務管理などを含む IFS EAM ソリューションによって、市場の破壊的な変化の中で事業継続性を維持し、Industry 4.0 がもたらす機会を享受できます。

ひとつのプラットフォームで業界トップクラスの機能を

IFS Cloud は、ひとつのプラットフォームで、業界トップクラスのサービスマネジメント、ERP、設備資産管理 (EAM) のソリューションを提供します。

IFS Cloud は、貴社ビジネスと市場のニーズを満たすように設計されています。共通のプラットフォームから、業種および機能上のニーズに合わせてカスタマイズされたソリューションと共に、IFS のあらゆる機能を提供します。

一貫したユーザーエクスペリエンスとソリューションがすぐに使える状態で提供されるため、IFS の製品は使いやすくカスタマイズが容易です。また貴社保有のソフトウェアを拡張し、IFS Cloud と容易に連携することもできます。

現在の貴社のニーズに最適なソリューションから開始し、要件の変化や拡大に応じて新しい機能を追加できます。新しい製品を購入して、統合やサポートをする必要はありません。

1 ひとつの製品

2 深い業界知識

3 組み込まれた革新

4 妥協のない選択

5 素晴らしい体験



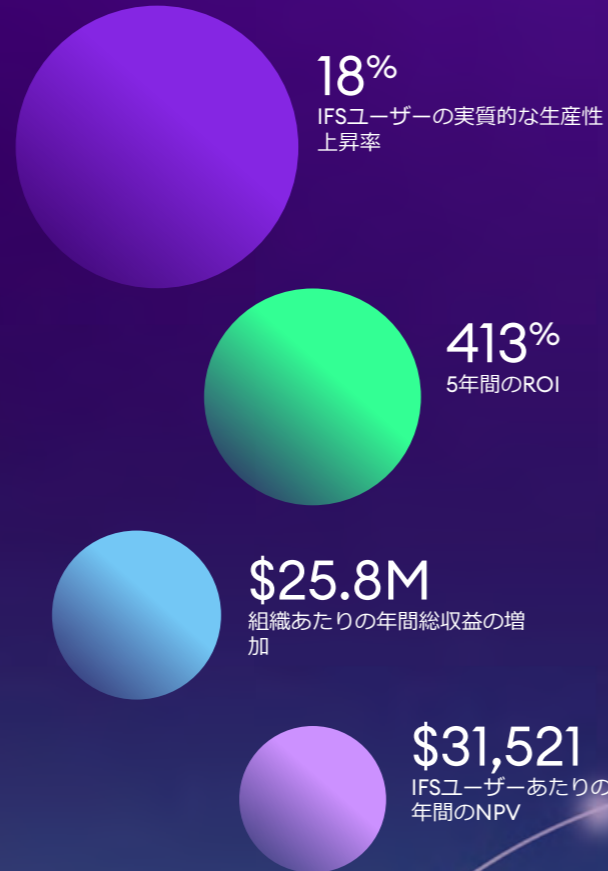
第三者の声をお聞きください

“

私たちは常に、競合他社よりもスマートで迅速な業務を行えるテクノロジーとプロセスを求めています。IFS Cloudは、実用的かつ安全な方法でイノベーションを展開および運用できるプラットフォームを提供します。IFSの業界固有のニーズに合わせて最適化された機能と組み合わせることで、競争優位に立つとともに、お客様により多くの価値を提供することができます。”

Cimcorp社
テクノロジー・ディレクター
Jyrki Anttonen氏

IDC Business Value Snapshot*



*IDC Business Value Snapshot, sponsored by IFS, The Business Value of IFS Enterprise Solutions with Industry-Specific Use Cases, September 2019.

楽しい体験の世界へようこそ

スマートフォン向けのコンシューマーアプリであれ、デスクトップ上のビジネスシステムのダッシュボードであれ、ソフトウェアを使うのは「人」です。ユーザーインターフェイスの設計とその結果得られるユーザーエクスペリエンスは、テクノロジーを効果的に操作し、活用し、適用するための基礎となります。

効果的で使いやすいツールは、協業やユーザーの積極的な関与を促進し、ユーザーパフォーマンスを向上させます。これにより、エンドユーザーが迅速かつ効率的に対応できるようになり、約束を果たすために必要な情報を確実に把握できます。

IFSのユーザーエクスペリエンスは、作業とビジネスの効率化に役立ちます。最高のコンシューマー向けソフトウェアのような操作性を提供するだけでなく、複雑なビジネスシナリオや大規模でデータ量の多いエンタープライズ環境で動作するように設計されています。

IFSのソリューションは直感的に使用でき、個々のユーザーが最も関連性の高い情報にアクセスできるように容易に構成できます。特定のワークフローで何が最も重要であるかを把握しているのはユーザーだけです。IFSのソリューションを使用すると、その情報を前面に表示できるため、任意のデバイスで、タスクの優先順位を設定したり、情報から得られた知見と必要なアクションを組み合わせることができます。

導入形態を問わず、同じ製品、優れた選択肢を提供

お客様に最新の機能とイノベーションを提供し、エクスペリエンスを向上し続けるために、IFS の製品はクラウド上に構築されています。ソリューションの提供方法やアップデートに関して柔軟に対応しており、お客様は3つの異なる運用モデルで IFS Cloud ソフトウェアを利用することができます。いずれの方法を選択しても、ソリューションの機能性に違いはありません。まったく同じ機能を利用できます。



クラウド

IFS のクラウド環境でホストされ、管理されたソフトウェアを提供します。お客様はサービスに接続し、利用するのみです。



リモート

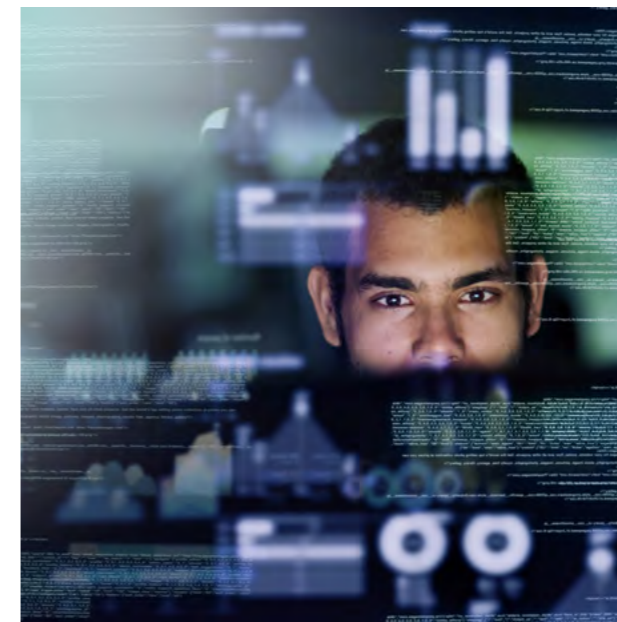
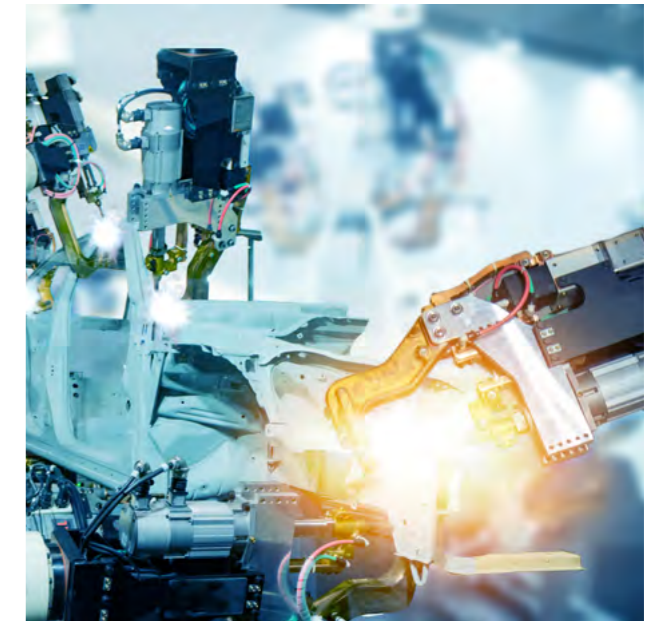
パッケージ化された IFS Cloud ソフトウェアを提供します。クラウドもしくはオンプレミスに関わらず、サポートしているプラットフォーム上に展開し、運用できます。



オンプレミス

コンテナやデータベーススクリプトなどのソフトウェア生成物を提供します。お客様自身でクラウドまたはオンプレミス環境にインストールし、運用できます。


また、IFS Cloud は、必要に応じてこれらの運用モデルを別のモデルに変更できるように設計されています。つまり、データレジデンシーの選択に捕らわれることが無いので、将来のデータレジデンシーやプライバシーに関する規制の変更に対応することができます。



インテリジェントで自律的なビジネスへの道

私たちの目標は、お客様とともに未来に向かって進んでいく中で、ERP、サービス管理、および設備資産管理の分野を変えることです。この意欲的な目標の根底には、AI(人工知能)やビジネスプロセスの自動化から、分析やシミュレーションのアプリケーションに至るまで、お客様の破壊的な変革の可能性を解き放つ一連の主要なテクノロジーを活用することがあります。

ユーザーエクスペリエンスへの戦略的な投資、エバーグリーン(いつまでも使い続けることのできるソフトウェアを提供する)コンセプトに基づくソフトウェアアップデートを可能にする階層型アプリケーションアーキテクチャ、プラットフォームやアプリケーションおよびその他のテクノロジー間の統合のためのAPI基盤など、当社のビジョンを支える重要な基盤とイネーブラーの多くを構築し、導入してきました。これは、IFSのお客様が既に将来に向けて私たちと一緒に旅をしていることを意味します。



すべてのお客様に
感謝を込めて

30年以上にわたり、私たちは世界各地の一流企業の皆様と協業する機会をいただきました。

各プロジェクトは困難な課題を抱えてスタートしたものの、最終的に大きな達成感と満足感をもって完了しています。

これはひとえにお客様のお力添えのおかげです。

さらに詳しい情報は

IFSと当社製品の詳細は、ifs.comをご覧ください。

IFSのブログでは、示唆に富む記事を発信しています。

<http://blog.ifs.com>

ソーシャルメディアでもIFSの最新ニュースをご紹介します。

Facebook: IFS

Twitter: IFS

LinkedIn: IFS

IFSについて

IFSは、エンタープライズ・クラウド・ソフトウェアのプロバイダーとして、「ものづくり」、「サプライチェーン」、「設備の維持管理」、「サービス中心のビジネス」を支援するためのソリューションを開発し、世界各地の企業に提供しています。IFSの業界固有の要件に対応した製品は、1つのプラットフォーム上で、本質的に単一のデータモデルに結び付けられており、組み込み型のデジタルイノベーションを使用しています。これにより、お客様は、顧客にとって本当に重要なとき、すなわち「サービスの瞬間」に最善を尽くすことができます。

各産業に深く精通したIFSのコンサルタントと広がり続けるエコシステムによって、IFSは業界のリーダーとして認められ、お客様に高く評価されています。現在、IFSは4,500人の従業員を擁し、IFSのソリューションは全世界で10,000社を超えるお客様に導入されています。IFSは世界各地の直営拠点やパートナーとともに、これらのお客様を支援しています。さらに詳しくは ifs.com をご覧ください。